# 平成２８年度募集対策プロジェクト取組み結果報告書

<table>
<tr><td colspan="2">ＰＪ３</td><td>東京都内高校への広報活動</td></tr>
<tr><td colspan="2">取組みの<br>主旨</td><td>これまで、定期的な高校訪問については県内を中心に実施してきたが、より広い地域の高校生に本校へ入学してもらえるよう、隣接する東京都内で本校への通学が負担にならないと考えられる地域の高校へ新たに訪問するなど、周知募集の活動を拡大する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">平成 28 年度に検討した事項</td><td>○短大校からの通学時間が 60 分程度の都内地域から当校を受験する生徒がいると予想される高校の絞り込みと訪問対象校の決定</td></tr>
<tr><td colspan="2">平成 28 年度に実施（活動）した事項</td><td>○都内高校 19 校を高校訪問先として選定し、学生課で訪問を実施した。<br>なお、訪問先の高校については、【別紙ＰＪ３－１】を参照<br>○都内高校を訪問した際、進路担当教諭から生徒は都内に進学先を求める傾向がある、という反応が多かった。そこで、「2017 入学案内」裏表紙に掲載されているアクセスマップを示し、都南部の地域に関して都心の学校へ通学するのと変わらない、または、それよりも通学の負担が少ない場合があることを示し、教諭の意識を変える働きかけを行った。</td></tr>
<tr><td colspan="2">成果</td><td>○平成 28 年度の当該 19 の高校からの応募<br>・公募推薦入試・・・・１校１名<br>・一般入学試験・・・・２校２名<br><br>○訪問した都立高校の生徒が公募推薦入試を受験し、残念ながら公募推薦入試では合格にいたらなかったケースがあったが、試験結果についての説明をかねて再度、高校訪問を行うとともに、当該高校の進路指導担当教諭に対して一般入試への受験を該当生徒に促してもらうように丁寧に説明した。結果として、該当生徒は一般入試を受験し、見事合格した。<br><br>［なお、訪問した都内高校の教諭から都南部にある高校であっても、神奈川県に近い町田市などに在住し、そこから通学している生徒がいる、など今後の訪問を考えるうえで有益な情報を聞くことができた。また、都内高校の進路指導担当教諭からの反応は、送付した当短大校の資料を読んでいる場合から全く知らないケースまで様々であった。4 年制大学への進学路線を強化している高校からは厳しい反応があった。］</td></tr>
<tr><td colspan="2">今年度の取組結果に関する所見（考察）</td><td>○県外から短大校を受験し、公募推薦入試で受験して残念ながら合格にいたらなかった生徒がいる高校についても、今回の事例から一般入試への受験を働きかけることで合格、および入学につながる可能性がある。<br>○高校訪問の効果は短期的には現れにくく、複数年単位での考察を必要とするので、今年度選出した 19 校について中・長期的に結果を考察していく必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">平成29年度の取組指針</td><td>平成 29 年度に取組むべき事項</td><td>○28 年度に訪問した都内高校については各高校の進路指導部との信頼関係の構築のために継続して訪問する。<br>○都内の高校内で行われる進路指導関係のガイダンスへの参加依頼があった場合、応募者増が全校的な取り組みの一環であるという意識のもとで積極的に参加していく。</td></tr>
<tr><td>平成 29 年度以降の成果指標</td><td>○該当校からの応募者数<br>○19 校について 3 年程度の長期的期間で継続的に訪問し、高校教員が短大校への認識を深めたかどうか、適性のある生徒がいた場合、受験を促してくれたかどうか、など幅広い指標で効果を検証していく。</td></tr>
</table>